



2023年3月17日

各位

会社名 イフジ産業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藤井 宗徳
 (コード: 2924: 東証スタンダード・福証)
 問合せ先 取締役経営企画部長 原 敬
 (TEL. 092-938-4561)

通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年8月4日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期業績予想及び2022年5月9日の「2022年3月期決算短信(連結)」で公表しました1株当たり期末配当予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,059	百万円 1,333	百万円 1,358	百万円 919	円 銭 112.13
今回修正予想(B)	20,765	1,564	1,613	1,117	135.77
増減額(B-A)	2,706	230	255	198	
増減率(%)	15.0%	17.3%	18.8%	21.6%	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	17,430	1,325	1,357	996	121.46

2023年3月期通期個別業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,870	百万円 1,317	百万円 896	円 銭 109.25
今回修正予想(B)	19,692	1,561	1,083	131.58
増減額(B-A)	2,822	244	187	
増減率(%)	16.7%	18.5%	20.9%	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	16,343	1,311	966	117.85

2. 業績予想の修正理由

養鶏業界では、飼料価格の高騰等に伴う生産コスト増による生産意欲の低下に加え、過去最大規模の鳥インフルエンザの発生により採卵鶏の殺処分数はこれまでに1,400万羽(国内の採卵鶏総数の約1割)を超え、鶏卵の極度の供給不足に伴う鶏卵相場の高騰が続いております。

このような状況の中、当社グループの液卵関連事業において、光熱費の値上がりを始めとする様々な製造コストの増加に対応するため販売価格の改定を進めてまいりました。また、現在までのところ販売数量は順調に推移しており、鶏卵の供給不足による原料仕入価格の高騰に対応し安定供給責任を果たすため販売価格の改定を進めております。

調味料関連事業におきましても、原料仕入価格の値上がりに伴う価格改定を進めております。これらにより、通期の売上高につきましては、連結・個別とも前回予想数値を上回る見込みとなりました。

損益につきましては、上述のとおり製造コストの増加や原料仕入価格の高騰に対応するため販売価格の改定を行っていることや販売数量が増加していること、また製造コストの増加に対応するため工場の生産効率の向上や歩留まりの向上に努めるなど、様々な施策を講じた結果、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

なお、今シーズンの鳥インフルエンザの発生及び鶏卵の供給不足については収束がまだ見通せず、厳しい経営環境が続いており、今後については不透明な状況となっておりますが、液卵の安定供給に努めるとともに、今後も業績を向上させるべく注力してまいります。

3. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	18円00銭	32円00銭
今回修正予想	—	21円00銭	35円00銭
当期実績	14円00銭	—	—
前期実績 (2022年3月期)	12円00銭	16円00銭	28円00銭

4. 配当予想の修正理由

上記のとおり通期業績予想が前回予想を上回る見込みとなったことから、期末配当金の予想金額を当初の18円00銭から21円00銭（3円増配）に修正させていただく予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上